

調査結果の概要

生活時間

1 1日の生活時間の配分

(1) 行動の種類別(3区分)生活時間

1次活動時間は減少、2次活動時間は増加、3次活動時間はわずかに減少

本県に住んでいる10歳以上の人について、1日の生活時間(週全体平均。以下「週全体」という。)をみると、1次活動時間が10時間24分、2次活動時間が7時間10分、3次活動時間が6時間26分となっています。

平成13年と比べると1次活動時間は6分減少し、2次活動時間は8分増加、3次活動時間は2分とわずかに減少しています。[表1参照]

男性は2次活動時間が増加、1次及び3次活動時間が減少し、女性は1次及び2次活動時間が減少、3次活動時間が増加

生活時間を男女別にみると、男性は1次活動時間が10時間17分、2次活動時間が7時間16分、3次活動時間が6時間27分、女性は1次活動時間が10時間32分、2次活動時間が7時間3分、3次活動時間が6時間25分となっており、1次活動時間は女性が長く、2次及び3次活動時間は男性が長くなっています。

平成13年と比べると、男性は1次活動時間が5分の減少、2次活動時間が17分の増加、3次活動時間が12分の減少となったのに対し、女性は1次活動時間が5分の減少、2次活動時間が3分の減少、3次活動時間が8分増加しています。[表1参照]

平日及び日曜日で2次活動時間が増加、3次活動時間が減少

生活時間を曜日別にみると、平日は1次活動時間が10時間9分、2次活動時間が8時間9分、3次活動時間が5時間42分、土曜日は1次活動時間が10時間48分、2次活動時間が5時間16分、3次活動時間が7時間56分、日曜日は1次活動時間が11時間20分、2次活動時間が4時間4分、3次活動時間が8時間36分となっており、1次及び3次活動時間は日曜日が最も長く、2次活動時間は平日が最も長くなっています。

平成13年と比べると、平日及び日曜日は1次活動が減少、2次活動時間が増加、3次活動時間が減少しています。土曜日は2次活動時間が減少しています。

[表2参照]

注:1次活動...睡眠、食事など生理的に必要な時間

2次活動...仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動

3次活動...1次活動、2次活動以外で各人が自由に使える時間における活動

表1 男女、行動の種類別生活時間(平成13年、18年) - 週全体

(時間・分)

	総数			男			女		
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減
1次活動	10.30	10.24	0.06	10.22	10.17	0.05	10.37	10.32	0.05
睡眠	7.44	7.37	0.07	7.49	7.43	0.06	7.39	7.30	0.09
身の回りの用事	1.09	1.11	0.02	0.59	1.01	0.02	1.19	1.22	0.03
食事	1.37	1.36	0.01	1.34	1.32	0.02	1.39	1.40	0.01
2次活動	7.02	7.10	0.08	6.59	7.16	0.17	7.06	7.03	0.03
通勤・通学	0.31	0.31	0.00	0.41	0.41	0.00	0.22	0.21	0.01
仕事	3.50	3.54	0.04	5.11	5.23	0.12	2.30	2.25	0.05
学業	0.37	0.37	0.00	0.38	0.37	0.01	0.37	0.38	0.01
家事	1.23	1.24	0.01	0.11	0.14	0.03	2.34	2.35	0.01
介護・看護	0.03	0.03	0.00	0.01	0.02	0.01	0.05	0.03	0.02
育児	0.13	0.15	0.02	0.03	0.04	0.01	0.24	0.25	0.01
買い物	0.24	0.25	0.01	0.14	0.15	0.01	0.34	0.36	0.02
3次活動	6.28	6.26	0.02	6.39	6.27	0.12	6.17	6.25	0.08
移動(通勤・通学を除く)	0.35	0.31	0.04	0.35	0.28	0.07	0.36	0.35	0.01
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.31	2.31	0.00	2.35	2.32	0.03	2.27	2.30	0.03
休養・くつろぎ	1.20	1.21	0.01	1.19	1.19	0.00	1.20	1.23	0.03
学習・研究(学業以外)	0.14	0.13	0.01	0.14	0.15	0.01	0.14	0.12	0.02
趣味・娯楽	0.43	0.46	0.03	0.51	0.52	0.01	0.35	0.40	0.05
スポーツ	0.12	0.13	0.01	0.14	0.16	0.02	0.10	0.10	0.00
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.05	0.00	0.04	0.04	0.00	0.05	0.05	0.00
交際・付き合い	0.25	0.22	0.03	0.25	0.20	0.05	0.25	0.25	0.00
受信・療養	0.07	0.08	0.01	0.06	0.07	0.01	0.08	0.09	0.01
その他	0.16	0.15	0.01	0.15	0.12	0.03	0.18	0.18	0.00
(再掲)									
家事関連 1)	2.03	2.07	0.04	0.29	0.35	0.06	3.37	3.39	0.02
休養等自由時間活動 2)	3.51	3.52	0.01	3.54	3.51	0.03	3.47	3.53	0.06
積極的自由時間活動 3)	1.14	1.17	0.03	1.23	1.27	0.04	1.04	1.07	0.03

- 1) 家事、介護・看護、育児及び買い物
- 2) テレビ・ラジオ・新聞・雑誌及び休養・くつろぎ
- 3) 学習・研究(学業以外)、趣味・娯楽、スポーツ及びボランティア活動・社会参加活動

表2 男女、行動の種類、曜日別生活時間(平成13年、18年)

(時間・分)

		平成13年			平成18年		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
総数	1次活動	10.16	10.45	11.22	10.09	10.48	11.20
	2次活動	7.57	5.37	3.55	8.09	5.16	4.04
	3次活動	5.47	7.38	8.43	5.42	7.56	8.36
男	1次活動	10.08	10.40	11.15	9.59	10.42	11.20
	2次活動	8.09	5.01	3.03	8.33	4.54	3.14
	3次活動	5.42	8.19	9.42	5.28	8.24	9.26
女	1次活動	10.25	10.50	11.28	10.18	10.54	11.19
	2次活動	7.44	6.12	4.47	7.45	5.39	4.54
	3次活動	5.51	6.57	7.45	5.56	7.27	7.46

(2) 年齢階級別にみた生活時間

2次活動時間は、男性は25～34歳が、女性は35～44歳が最も長い

年齢階級別に生活時間をみると、1次活動時間は、男性は25～34歳が9時間42分、女性は45～54歳が9時間34分と最も短く、男女共に75歳以上で最も長くなっています。

2次活動時間は、男性は25～34歳が9時間11分、女性は35～44歳が8時間52分と最も長く、これより年齢が低い及び高いほど短くなっています。

3次活動時間は、男性は25～34歳が5時間7分、女性は35～44歳が5時間11分と最も短くなっています。

[「第2-1表」参照]

2 1次活動時間

(1) 睡眠時間

睡眠時間は45～54歳が最も短い

睡眠時間は7時間37分で、男女別にみると、男性は7時間43分、女性は7時間30分と男性が13分長くなっています。

年齢階級別にみると、45～54歳が7時間2分と最も短く、次いで35～44歳が7時間15分となっており、75歳以上が8時間52分と最も長くなっています。男女別にみると、35歳以上の年齢階級では男性が長く、特に45～54歳の年齢階級では、男性は7時間18分、女性は6時間46分と男性が32分長くなっています。

ほとんどの年齢階級で睡眠時間は減少

睡眠時間を平成13年と比べると、7分減少しています。これを年齢階級別にみると、15～24歳及び35～44歳を除くすべての年齢階級で減少しています。

[図1、2、表3参照]

図1 男女、年齢階級別睡眠時間
- 週全体

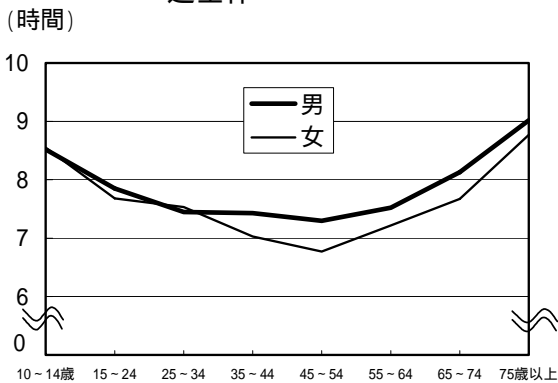


図2 年齢階級別睡眠時間
(平成13年、18年) - 週全体

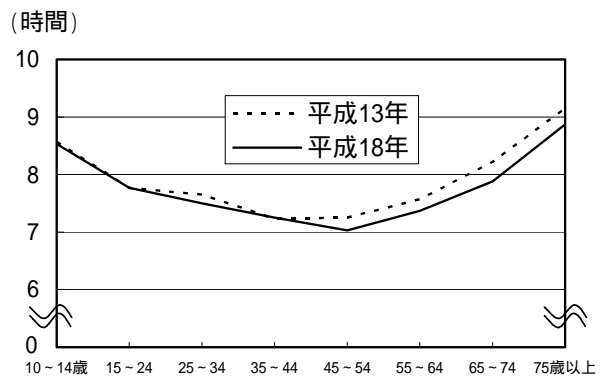


表3 男女、年齢階級別睡眠時間(平成13年、18年) - 週全体

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
総数	7.44	7.37	0.07	7.49	7.43	0.06	7.39	7.30	0.09	0.13
10～14歳	8.34	8.32	0.02	8.34	8.31	0.03	8.35	8.33	0.02	0.02
15～24歳	7.46	7.46	0.00	7.45	7.51	0.06	7.47	7.41	0.06	0.10
25～34歳	7.39	7.30	0.09	7.38	7.27	0.11	7.40	7.32	0.08	0.05
35～44歳	7.14	7.15	0.01	7.23	7.26	0.03	7.05	7.02	0.03	0.24
45～54歳	7.15	7.02	0.13	7.28	7.18	0.10	7.02	6.46	0.16	0.32
55～64歳	7.34	7.22	0.12	7.46	7.31	0.15	7.22	7.13	0.09	0.18
65～74歳	8.13	7.53	0.20	8.24	8.08	0.16	8.03	7.40	0.23	0.28
75歳以上	9.09	8.52	0.17	9.18	9.01	0.17	9.04	8.46	0.18	0.15

(2) 食事時間

15歳以上は年齢階級が高くなるほど長い食事時間

食事時間は、1時間36分で、全国平均の1時間39分とほぼ同時間となっています。これを男女別にみると男性は1時間32分、女性は1時間40分と女性が8分長くなっています。

年齢階級別にみると、25～34歳が1時間27分と最も短く、75歳以上が1時間57分と最も長くなっており、15歳以上は年齢階級が高くなるほど長くなる傾向となっています。これを男女別にみると、45～54歳、75歳以上を除くすべての年齢階級で女性が長くなっており、特に25～34歳では男性より17分長くなっています。

15歳以上64歳未満で減少している食事時間

食事時間を平成13年と比べると、1分の減少とほぼ横ばいになっています。これを年齢階級別にみると、65歳以上を除くすべての年齢階級で減少又は横ばいとなっています。

[表4、「第4表」参照]

表4 男女、年齢階級別食事時間(平成13年、18年) - 週全体

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
総数	1.37	1.36	0.01	1.34	1.32	0.02	1.39	1.40	0.01	0.08
10～14歳	1.32	1.32	0.00	1.31	1.28	0.03	1.33	1.37	0.04	0.09
15～24歳	1.28	1.23	0.05	1.24	1.19	0.05	1.31	1.27	0.04	0.08
25～34歳	1.30	1.27	0.03	1.26	1.19	0.07	1.34	1.36	0.02	0.17
35～44歳	1.32	1.30	0.02	1.30	1.28	0.02	1.34	1.31	0.03	0.03
45～54歳	1.36	1.33	0.03	1.36	1.33	0.03	1.36	1.33	0.03	0.00
55～64歳	1.44	1.43	0.01	1.41	1.39	0.02	1.46	1.46	0.00	0.07
65～74歳	1.51	1.56	0.05	1.51	1.53	0.02	1.51	1.59	0.08	0.06
75歳以上	1.55	1.57	0.02	1.53	2.01	0.08	1.56	1.55	0.01	0.06

3 2次活動時間

(1) 仕事時間

男女共に25～34歳で最も長い仕事時間

有業者(15歳以上、以下同じ。)の1日の仕事時間は、6時間16分で、全国平均の6時間9分と比べ7分長くなっています。これを男女別にみると、男性は7時間19分、女性は4時間44分となっています。

年齢階級別にみると、男女共に25～34歳(男性が8時間13分、女性が5時間8分)が最も長くなっています。

男性は25～34歳及び45～54歳で大きく増加

有業者の1日の仕事時間を平成13年と比べると、16分の増加となっており、男性は24分、女性は2分の増加となっています。これを男女別に年齢階級別でみると、男性は25～34歳で59分、45～54歳で40分と大きく増加しています。

[図3、表5、「第4表」参照]

図3 男女、年齢階級別仕事時間(平成13年、18年)
- 週全体、有業者

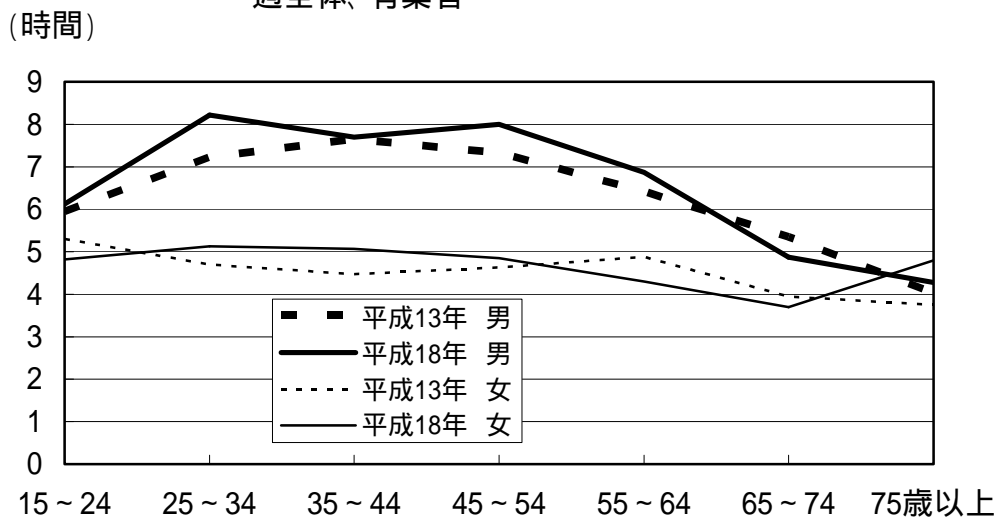


表5 男女、年齢階級別仕事時間(平成13年、18年) - 週全体、有業者

(時間・分)

	総数			男			女		
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減
総数	6.00	6.16	0.16	6.55	7.19	0.24	4.42	4.44	0.02
15～24歳	5.38	5.35	0.03	5.57	6.07	0.10	5.18	4.49	0.29
25～34歳	6.14	7.07	0.53	7.14	8.13	0.59	4.42	5.08	0.26
35～44歳	6.25	6.36	0.11	7.39	7.42	0.03	4.28	5.04	0.36
45～54歳	6.11	6.39	0.28	7.20	8.00	0.40	4.38	4.51	0.13
55～64歳	5.49	5.50	0.01	6.25	6.52	0.27	4.53	4.18	0.35
65～74歳	4.43	4.24	0.19	5.21	4.52	0.29	3.57	3.42	0.15
75歳以上	3.46	4.06	0.20	4.02	4.17	0.15	3.45	4.48	1.03

(2) 家事関連時間

家事関連時間は男女の差が大きい

家事関連時間は2時間7分で、男性は35分、女性は3時間39分と男女の間に大きな差があります。年齢階級別にみると男性は65歳以上の年齢階級で1時間以上と長くなっています。一方、女性は25歳以上65歳未満の年齢階級で4時間以上と長く、特に35～44歳で4時間47分と最も長くなっています。

女性は35～44歳で大きく減少

家事関連時間を男女別に平成13年と比べると、男性は6分、女性は2分の増加となっています。これを年齢階級別でみると、男性はすべての年齢階級で増加しています。一方、女性は75歳以上で29分と大きく増加したのに対し、35～44歳で33分と大きく減少しています。

[図4、表6参照]

図4 男女、年齢階級別家事関連時間(平成13年、18年)
- 週全体

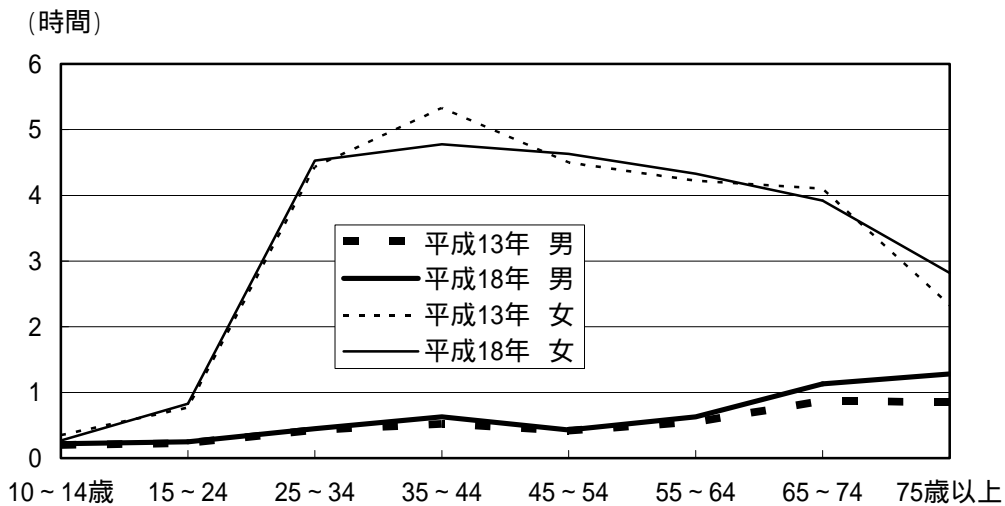


表6 男女、年齢階級別家事関連時間(平成13年、18年) - 週全体

	(時間・分)										
	総数			男			女			男女差	
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年
総数	2.03	2.07	0.04	0.29	0.35	0.06	3.37	3.39	0.02	3.08	3.04
10～14歳	0.17	0.15	0.02	0.12	0.13	0.01	0.21	0.16	0.05	0.09	0.03
15～24歳	0.29	0.32	0.03	0.14	0.15	0.01	0.46	0.50	0.04	0.32	0.35
25～34歳	2.22	2.24	0.02	0.26	0.27	0.01	4.26	4.32	0.06	4.00	4.05
35～44歳	2.51	2.37	0.14	0.31	0.38	0.07	5.20	4.47	0.33	4.49	4.09
45～54歳	2.27	2.31	0.04	0.25	0.26	0.01	4.30	4.38	0.08	4.05	4.12
55～64歳	2.23	2.30	0.07	0.33	0.38	0.05	4.13	4.20	0.07	3.40	3.42
65～74歳	2.34	2.34	0.00	0.52	1.08	0.16	4.06	3.55	0.11	3.14	2.47
75歳以上	1.46	2.13	0.27	0.51	1.17	0.26	2.20	2.49	0.29	1.29	1.32

男性はすべての曜日で増加

曜日別に家事関連時間をみると、平日が2時間1分、土曜日が2時間18分、日曜日が2時間22分となっており、平日に比べ日曜日は21分長くなっています。

男女別に平成13年と比べると、男性はすべての曜日で増加しているのに対し、女性は平日及び日曜日が増加、土曜日が減少しています。

[図5、表7参照]

図5 男女、曜日別家事関連時間
(平成13年、18年)

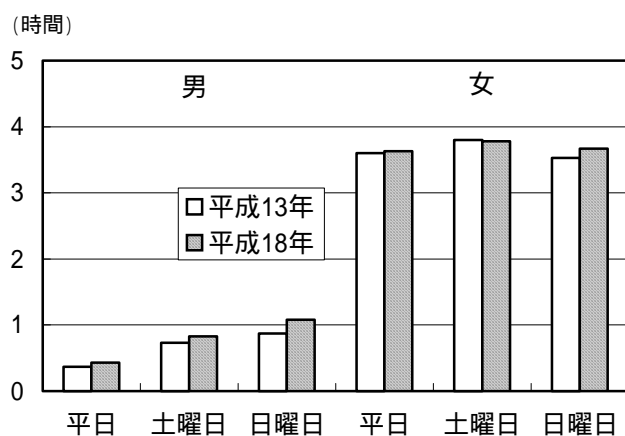


表7 男女、曜日別家事関連時間
(平成13年、18年)

	総数		男		女	
	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年	平成13年	平成18年
平日	2.00	2.01	0.22	0.26	3.36	3.38
土曜日	2.17	2.18	0.44	0.50	3.48	3.47
日曜日	2.13	2.22	0.52	1.05	3.32	3.40

4 3次活動時間

(1) 休養等自由時間活動

65歳～74歳で男性が女性より休養等自由時間活動の時間がほぼ1時間長い

休養等自由時間活動の時間は3時間52分で、全国の3時間49分と比べ、3分長くなっています。このうち、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌に費やす時間は2時間31分となっています。

男女別で年齢階級別にみると、64歳未満では男女に大きな差は見られませんが、65歳～74歳の年齢階級では男性が女性よりほぼ1時間長く、大きな差が見られます。

平成13年と比べほぼ横ばい

休養等自由時間活動の時間を平成13年と比べると、1分の増加とほぼ横ばいとなっており、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌に費やす時間も横ばいとなっています。年齢階級別にみると10～14歳及び75歳以上では男女共に20分以上減少しています。

[図6、7、表8、「第4表」]

図6 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間 - 週全体

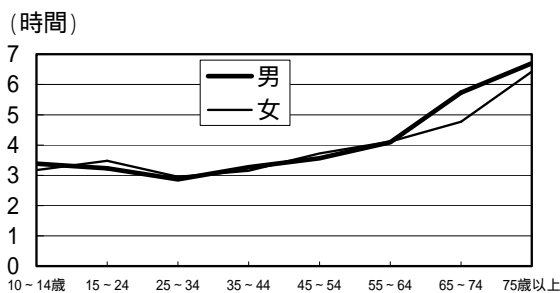


図7 年齢階級別休養等自由時間活動の時間(平成13年、18年) - 週全体

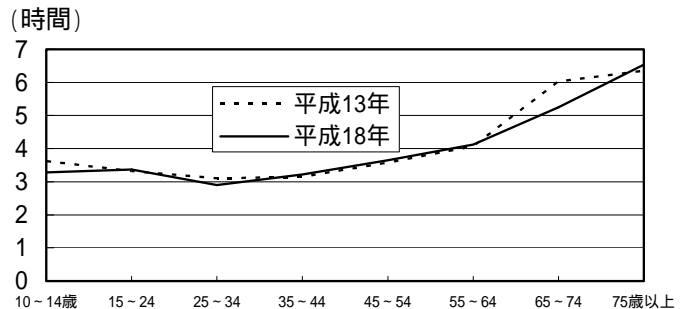


表8 男女、年齢階級別休養等自由時間活動の時間(平成13年、18年) - 週全体

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
休養等自由時間活動	3.51	3.52	0.01	3.54	3.51	0.03	3.47	3.53	0.06	0.02
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.31	2.31	0.00	2.35	2.32	0.03	2.27	2.30	0.03	0.02
休養・くつろぎ	1.20	1.21	0.01	1.19	1.19	0.00	1.20	1.23	0.03	0.04
休養等自由時間活動										
10～14歳	3.37	3.17	0.20	3.40	3.23	0.17	3.35	3.10	0.25	0.13
15～24歳	3.19	3.22	0.03	3.21	3.14	0.07	3.15	3.29	0.14	0.15
25～34歳	3.06	2.54	0.12	3.10	2.52	0.18	3.01	2.57	0.04	0.05
35～44歳	3.09	3.13	0.04	3.10	3.16	0.06	3.08	3.09	0.01	0.07
45～54歳	3.35	3.39	0.04	3.32	3.34	0.02	3.38	3.43	0.05	0.09
55～64歳	4.04	4.07	0.03	4.12	4.06	0.06	3.56	4.07	0.11	0.01
65～74歳	5.18	5.15	0.03	6.02	5.44	0.18	4.37	4.46	0.09	0.58
75歳以上	6.56	6.32	0.24	7.11	6.42	0.29	6.48	6.25	0.23	0.17

(2) 積極的自由時間活動

積極的自由時間活動の時間は女性に比べ男性が20分長い

積極的自由時間活動の時間は1時間17分で、全国と同時間となっています。このうち趣味・娯楽に費やす時間は46分と最も長く、次いでスポーツ、学習・研究(学業以外)の順となっています。

男女別にみると、男性は1時間27分、女性は1時間7分と男性が20分長くなっています。これを年齢階級別にみると、男性は45～54歳が、女性は25歳以上45歳未満及び75歳以上の年齢階級で1時間未満と短くなっています。

45～54歳を除くすべての年齢階級で増加又は横ばい

積極的自由時間活動の時間を平成13年と比べると、3分の増加となっており、このうち学習・研究(学業以外)以外はすべてほぼ横ばいとなっています。これを年齢階級別にみると、45～54歳を除くすべての年齢階級で増加又は横ばいとなっています。

[図8、9、表9、「第4表」参照]

図8 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間 - 週全体

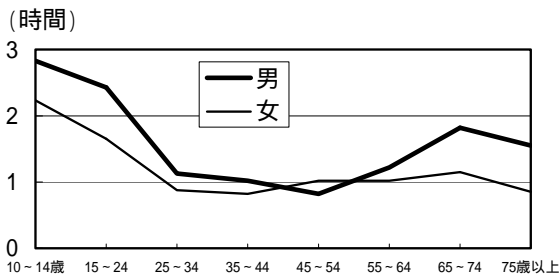


図9 年齢階級別積極的自由時間活動の時間(平成13年、18年) - 週全体

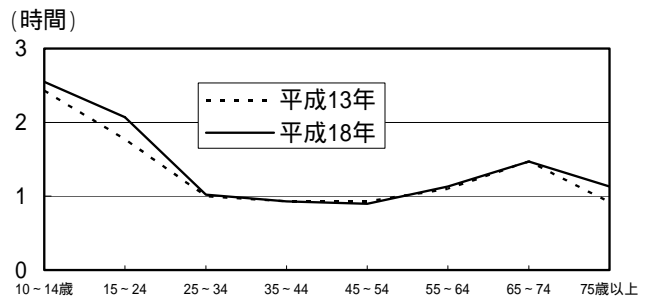


表9 男女、年齢階級別積極的自由時間活動の時間(平成13年、18年) - 週全体

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
積極的自由時間活動	1.14	1.17	0.03	1.23	1.27	0.04	1.04	1.07	0.03	0.20
学習・研究(学業以外)	0.14	0.13	0.01	0.14	0.15	0.01	0.14	0.12	0.02	0.03
趣味・娯楽	0.43	0.46	0.03	0.51	0.52	0.01	0.35	0.40	0.05	0.12
スポーツ	0.12	0.13	0.01	0.14	0.16	0.02	0.10	0.10	0.00	0.06
ボランティア活動・社会参加活動	0.05	0.05	0.00	0.04	0.04	0.00	0.05	0.05	0.00	0.01
積極的自由時間活動										
10～14歳	2.26	2.33	0.07	2.39	2.50	0.11	2.10	2.14	0.04	0.36
15～24歳	1.46	2.04	0.18	2.05	2.26	0.21	1.26	1.39	0.13	0.47
25～34歳	1.00	1.01	0.01	1.11	1.08	0.03	0.47	0.53	0.06	0.15
35～44歳	0.56	0.56	0.00	1.00	1.01	0.01	0.55	0.49	0.06	0.12
45～54歳	0.56	0.54	0.02	0.59	0.49	0.10	0.52	1.01	0.09	0.12
55～64歳	1.06	1.08	0.02	1.11	1.13	0.02	1.03	1.01	0.02	0.12
65～74歳	1.28	1.28	0.00	1.50	1.49	0.01	1.08	1.09	0.01	0.40
75歳以上	0.55	1.08	0.13	1.09	1.33	0.24	0.44	0.51	0.07	0.42

(3) 交際・付き合い

交際・付き合いの時間は、10～14歳、55～64歳を除くすべての年齢階級で減少又は横ばい

交際・付き合いの時間は22分で、男性は20分、女性は25分と女性が5分長くなっています。平成13年と比べると、3分の減少となっており、10～14歳及び55～64歳を除くすべての年齢階級で減少又は横ばいとなっています。
[図10、表10参照]

図10 男女、年齢階級別交際・付き合いの時間
(平成13年、18年) - 週全体

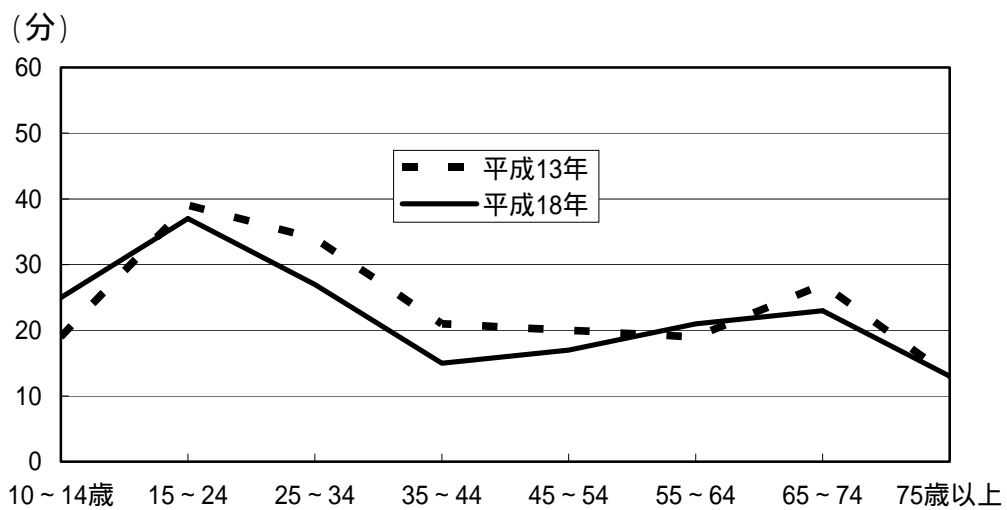


表10 男女、年齢階級別交際・付き合いの時間(平成13年、18年) - 週全体

	総数			男			女			男女差
	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成13年	平成18年	増減	平成18年
総数	25	22	3	25	20	5	25	25	0	5
10～14歳	19	25	6	24	27	3	13	22	9	5
15～24歳	39	37	2	44	37	7	33	36	3	1
25～34歳	34	27	7	33	22	11	35	32	3	10
35～44歳	21	15	6	17	13	4	25	17	8	4
45～54歳	20	17	3	19	16	3	22	19	3	3
55～64歳	19	21	2	18	19	1	20	24	4	5
65～74歳	23	23	0	18	19	1	27	27	0	8
75歳以上	13	13	0	12	10	2	13	16	3	6

生活行動

1 インターネットの利用

男性の65.2%、女性の59.5%がインターネットを利用

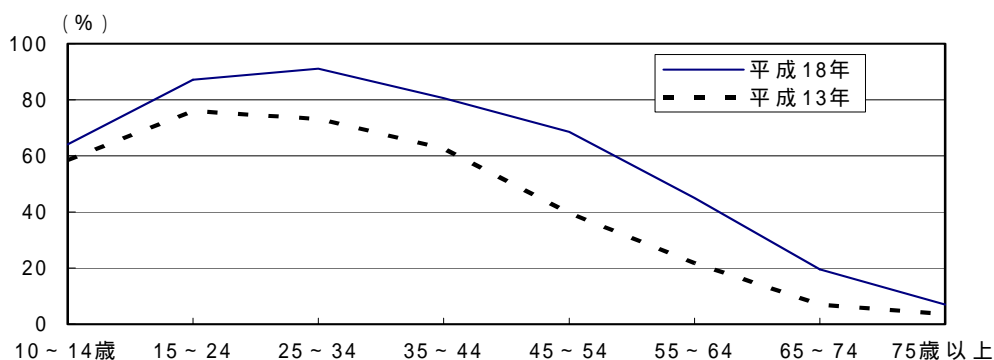
過去1年間(平成17年10月20日～18年10月19日。以下同じ。)にインターネットを利用した人(10歳以上。以下同じ。)は403万7千人で、10歳以上人口に占める割合(行動者率。以下同じ。)は62.4%となっており、全国平均の59.4%に比べ3.0ポイント上回っています。

行動者率は、仕事や学業での利用を含めた平成13年(47.3%)と比べても、15.1ポイント上昇しており、年齢階級別にみてもすべての階級で上昇しています。

男女別にみると、男性が211万9千人、女性が191万8千人となっており、行動者率は男性が65.2%、女性が59.5%で男性が女性より5.7ポイント高くなっています。これを年齢階級別にみると男性は25～34歳が90.7%、女性は15～24歳が92.8%と最も高く、35歳未満では女性が35歳以上では男性が高い行動者率となっています。

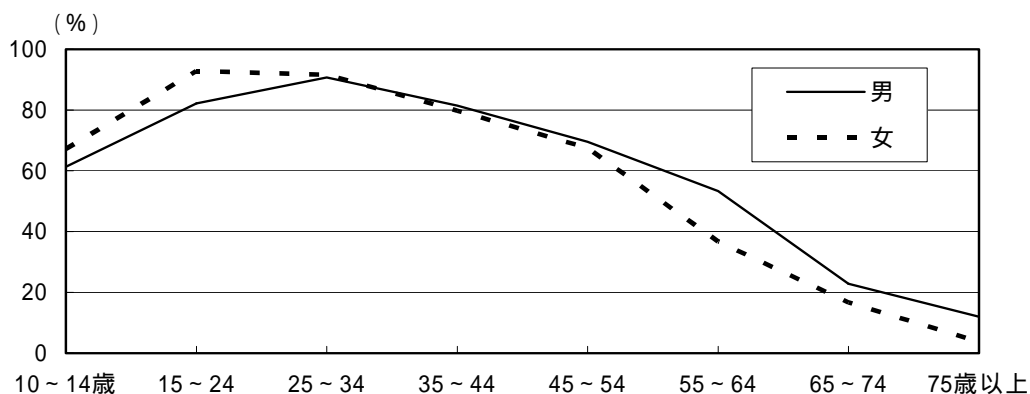
[図11、12、「第5表」、「第8表」参照]

図11 年齢階級別「インターネットの利用」の行動者率
(平成13年、18年)



注:平成13年は仕事や学業での利用を含む。

図12 男女、年齢階級別「インターネットの利用」の行動者率



行動者率は「電子メール」が50.8%で、「商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用」は23.6%

「インターネットの利用」の種類別に行動者率をみると、「電子メール」が50.8%と最も高く、次いで「情報検索及びニュース等の情報入手」が45.2%、「画像・動画・音楽データソフトウェアの入手」が27.5%、「商品やサービスの予約・購入、支払いなどの利用」が23.6%となっています。

男女別にみると、「ホームページ、ブログの開設・更新」を除き、いずれの種類も男性の方が高くなっています。これを年齢別にみると、「電子メール」は男女共に15歳以上55歳未満の年齢階級で、「情報検索及びニュース等の情報入手」は男性が15歳以上55歳未満の年齢階級で、女性が15歳以上45歳未満の年齢階級で5割を超える行動者率となっています。

[図13、図14、図15、「第7-1表」参照]

図13 男女、「インターネットの利用」の種類別行動者率

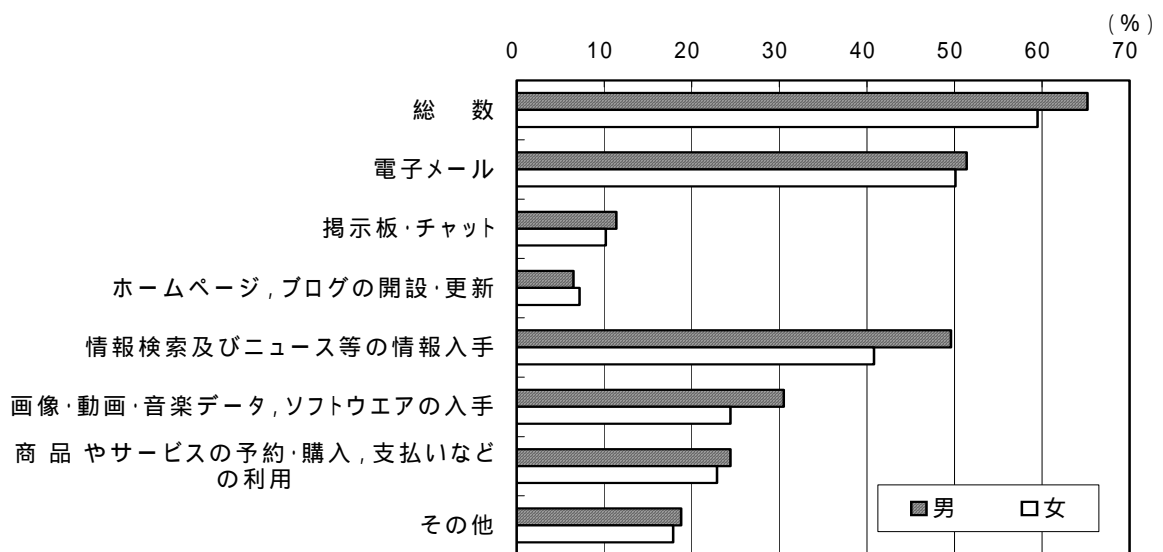


図14 「インターネットの利用」の年齢階級別行動者率—男性—

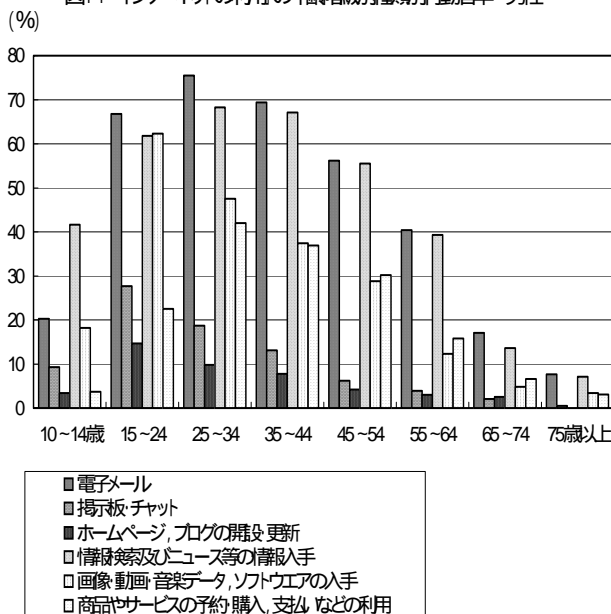
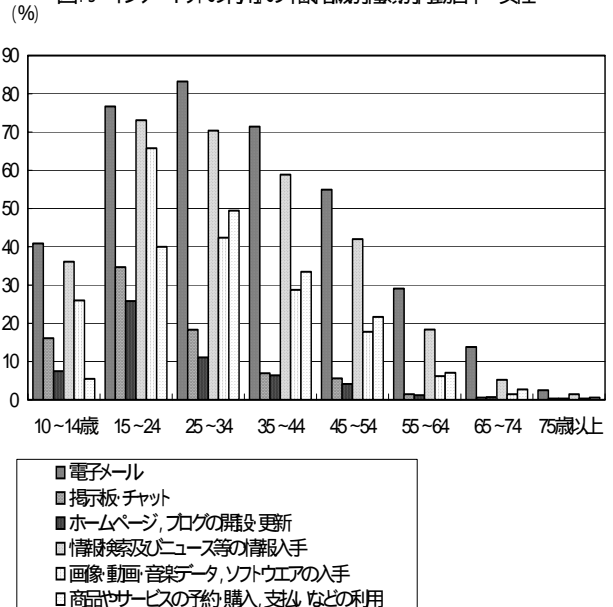


図15 「インターネットの利用」の年齢階級別行動者率—女性—



2 学習・研究

行動者率は33.6%、平成13年と比べて1.1ポイント低下

過去1年間に何らかの「学習・研究」を行った人は217万3千人で、行動者率は33.6%となっており、平成13年に比べ1.1ポイント低下しています。男女別にみると、男性が105万2千人、女性が112万1千人となっており、行動者率は男性が32.4%、女性が34.8%で女性が男性より2.4ポイント高くなっています。

行動者率を年齢階級別にみると25～34歳が39.5%と最も高くなっており、これより年齢が高くなるにつれて行動者率は低下しています。これを男女別にみると65歳以上を除く全ての年齢階級で、特に15～24歳の年齢階級で女性の方が高くなっています。[図16、17、「第5表」参照]

図 16 年齢階級別「学習・研究」の行動者率(平成13年、18年)

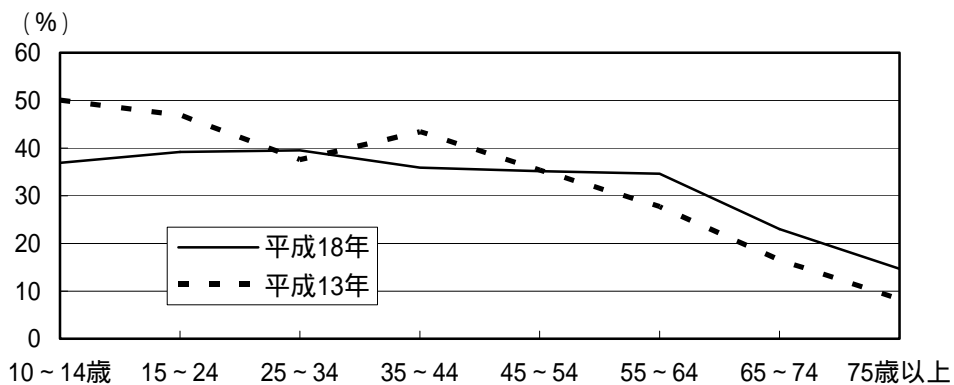
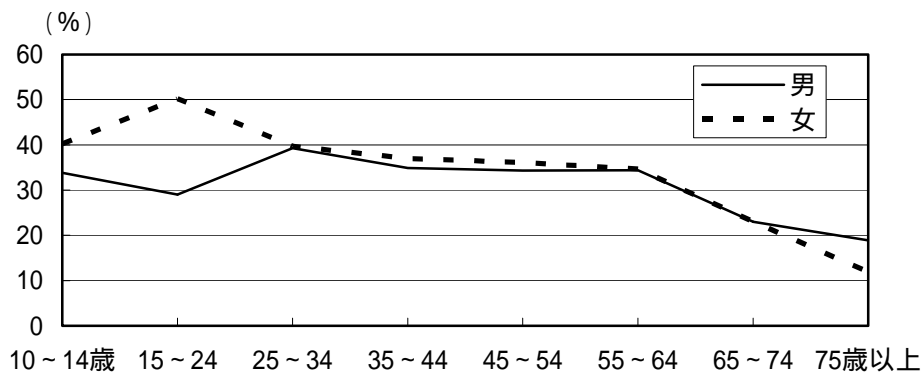


図 17 男女、年齢階級別「学習・研究」の行動者率



注:「学習・研究」は、社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業(授業、予習、復習)として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

「パソコン等の情報処理」は他の種類と比べ行動者率が11.1%と最も高いものの、5年前と比べ3.6ポイント低下

「学習・研究」の種類別行動者率をみると、「パソコン等の情報処理」が11.1%と最も高く、次いで、「芸術・文化」が10.4%、「英語」が8.8%となっています。

これを男女別にみると、男性は「パソコン等の情報処理」が13.5%と最も高く、次いで「商業実務・ビジネス関係」が10.6%となっています。女性は「家政・家事」が13.9%と最も高く、次いで「芸術・文化」が13.1%となっています。

平成13年と比べると、「パソコン等の情報処理」が3.6ポイント低下、「芸術・文化」が1.7ポイント上昇しています。〔図18、19、「第7 - 2表」参照〕

図 18 男女、「学習・研究」の種類別行動者率

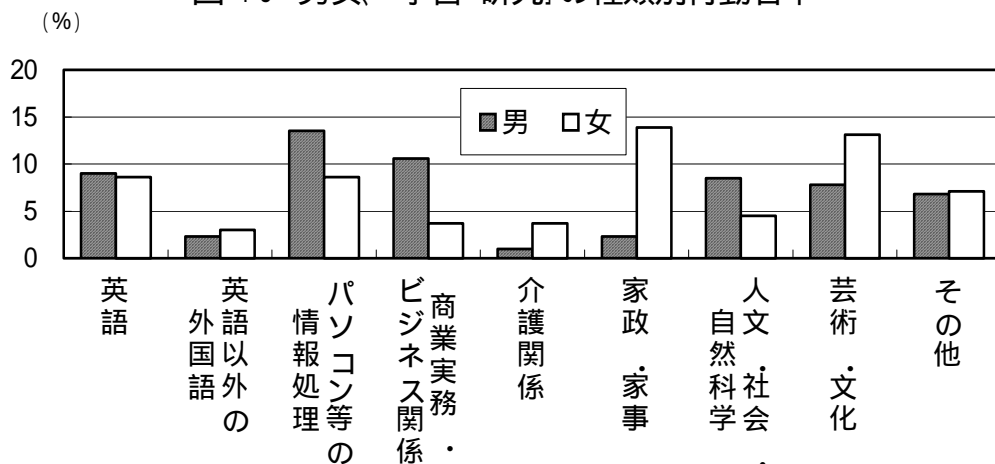
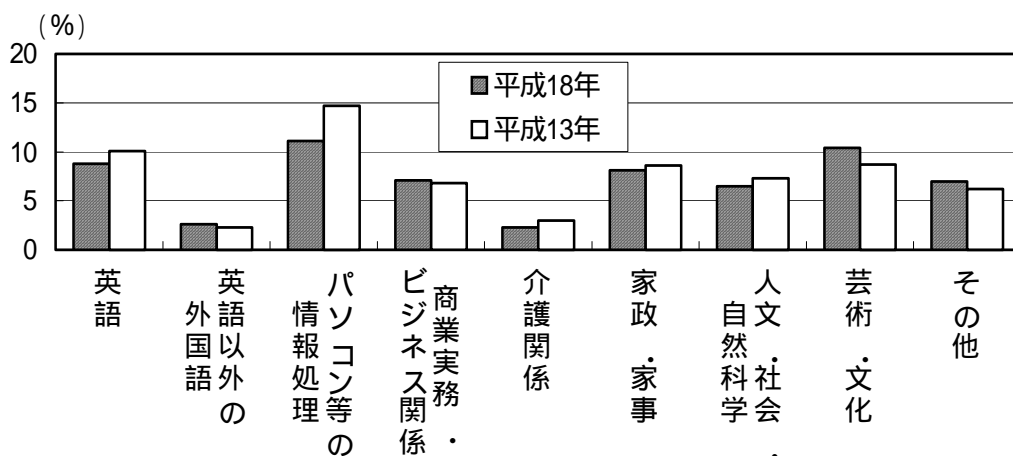


図 19 「学習・研究」の種類別行動者率(平成13年、18年)



3 スポーツ

過去1年間に「スポーツ」を行った人は435万人、行動者率は67.2%で5年前より、5.9ポイント低下

過去1年間に何らかの「スポーツ」を行った人は、435万人で、行動者率は67.2%となっており、平成13年に比べ5.9ポイント低下しています。男女別にみると男性が232万3千人、女性が202万6千人となっており、行動者率は男性が71.5%、女性が62.9%で男性が女性より8.6ポイント高くなっています。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が91.0%と最も高く、年齢が高くなるにつれて低下しています。これを男女別にみると、15～24歳を除くすべての年齢階級で男性の方が高くなっており、特に65歳以上で差が大きくなっています。[図20、21、「第5表」参照]

図20 年齢階級別「スポーツ」の行動者率(平成13年、18年)

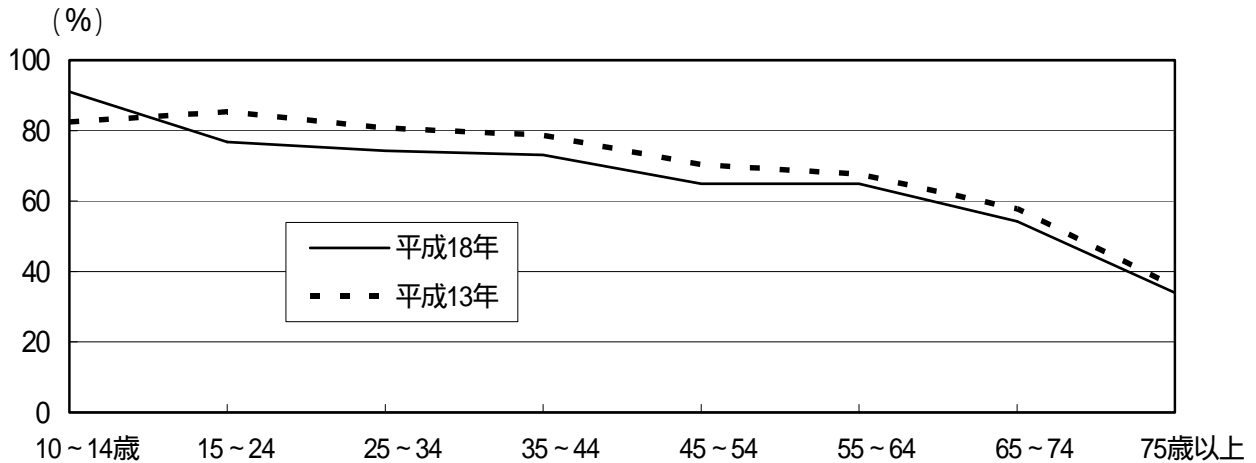
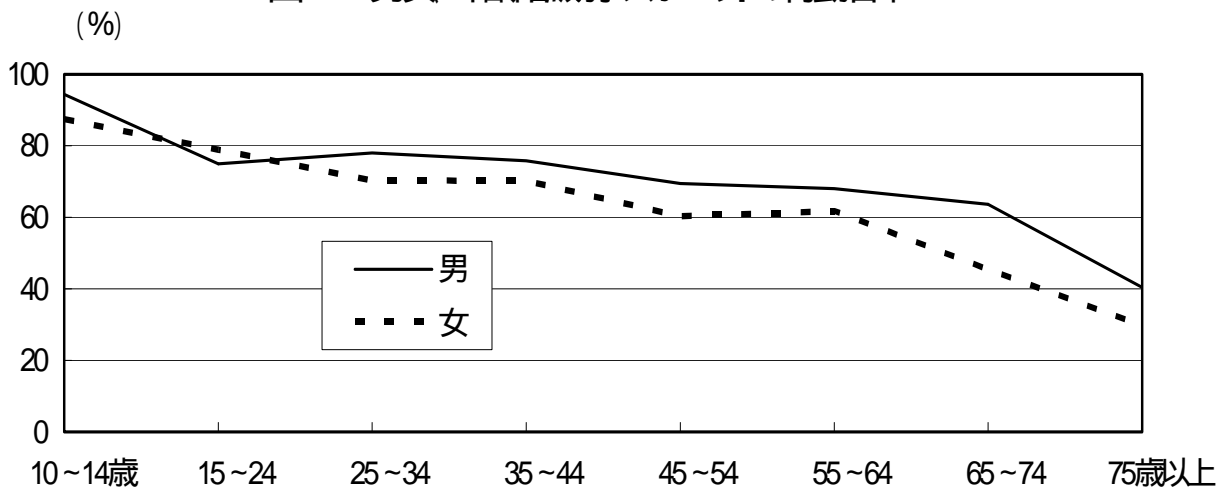


図21 男女年齢階級別「スポーツ」の行動者率



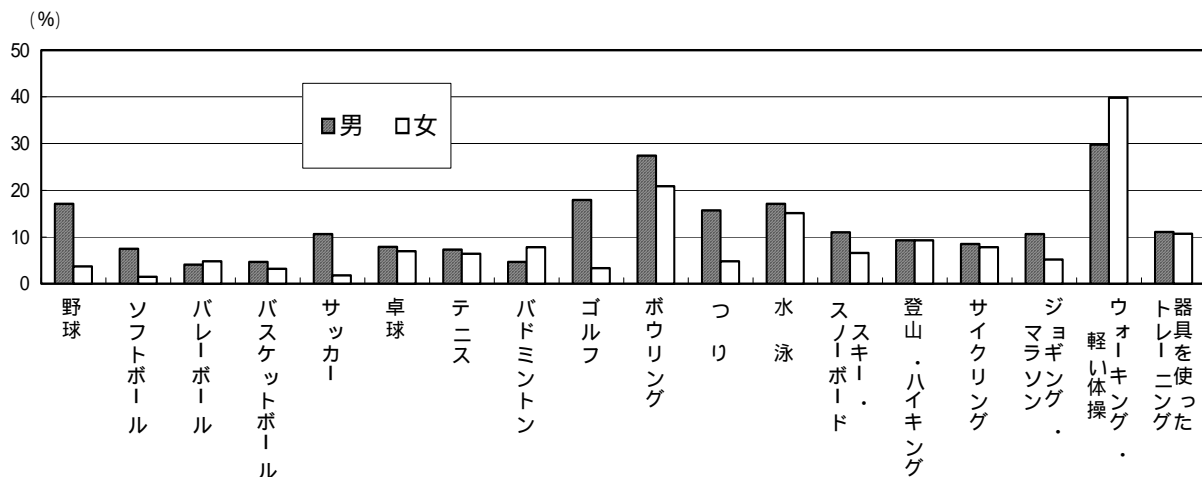
注:「スポーツ」には、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

行動者率はサッカー、テニスを除くすべての種類で低下

「スポーツ」の種類別行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が34.8%と最も高く、次いで「ボウリング」が24.1%となっています。これを男女別にみても男女共に「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、次いで「ボウリング」となっています。

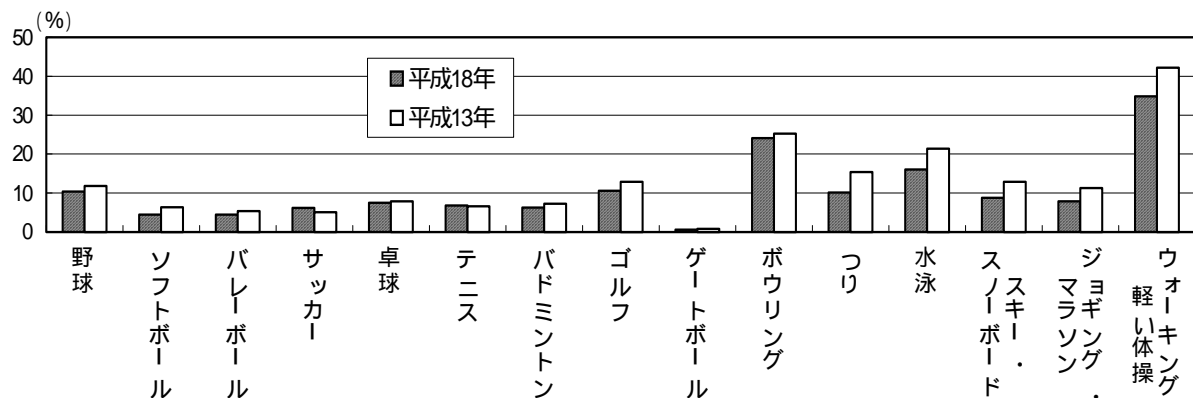
比較可能な「スポーツ」の種類について、平成13年と比べると「ウォーキング・軽い体操」が7.4ポイント低下、「水泳」が5.3ポイント低下などとなっており、「サッカー」、「テニス」を除くすべての種類で行動者率は低下しています。[図22、23、「第7-3表」参照]

図 22 男女「スポーツ」の種類別行動者率



注:行動者率が3%以上の種類を表章。

図 23 「スポーツ」の種類別行動者率(平成13年、平成18年)



注:平成13年と比較可能な種類を表章。

「ウォーキング・軽い体操」の平成13年の調査項目は「運動としての散歩・軽い体操」。

4 趣味・娯楽

過去1年間に「趣味・娯楽」を行った人は563万8千人、行動者率は87.1%で、5年前より0.5ポイント低下

過去1年間に何らかの「趣味・娯楽」を行った人は563万8千人で、行動者率は87.1%と平成13年に比べ0.5ポイント低くなっています。男女別にみると男性が286万6千人、女性が277万2千人となっており、行動者率は、男性が88.2%、女性が86.0%で、男性が女性より2.2ポイント高くなっています。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が95.3%と最も高く、25歳以上は年齢が高くなるにつれて低下しています。これを男女別にみると45歳以上では男性の方が高く、45歳未満ではおおむね女性の方が高くなっています。[図24、25、「第5表」参照]

図24 年齢階級別「趣味・娯楽」の行動者率(平成13年、18年)

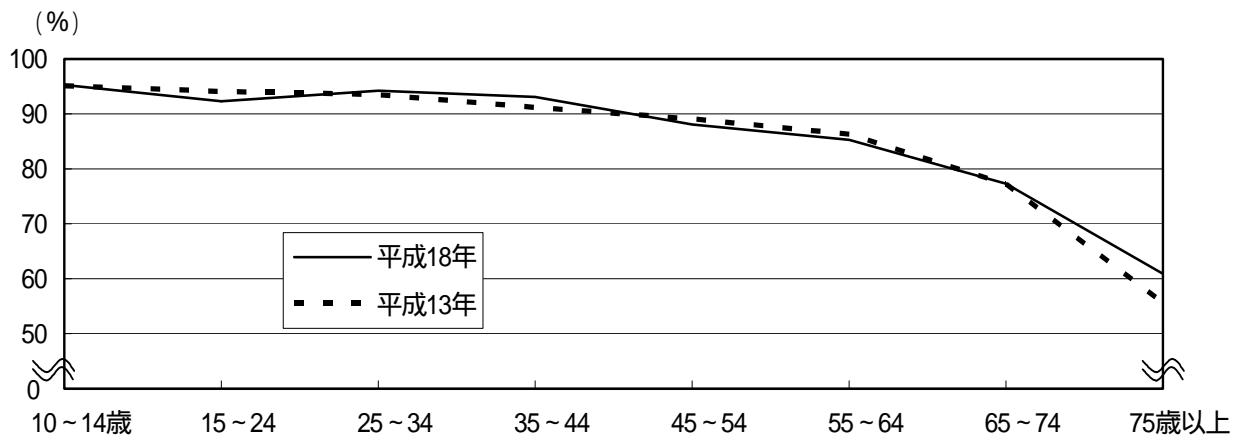
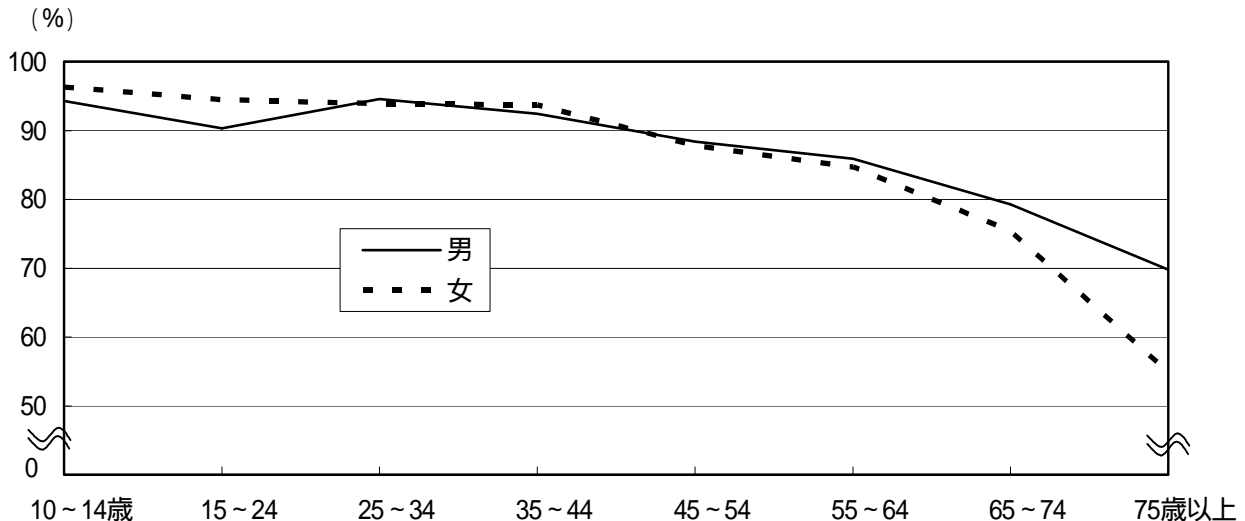


図25 男女、年齢階級別「趣味・娯楽」の行動者率

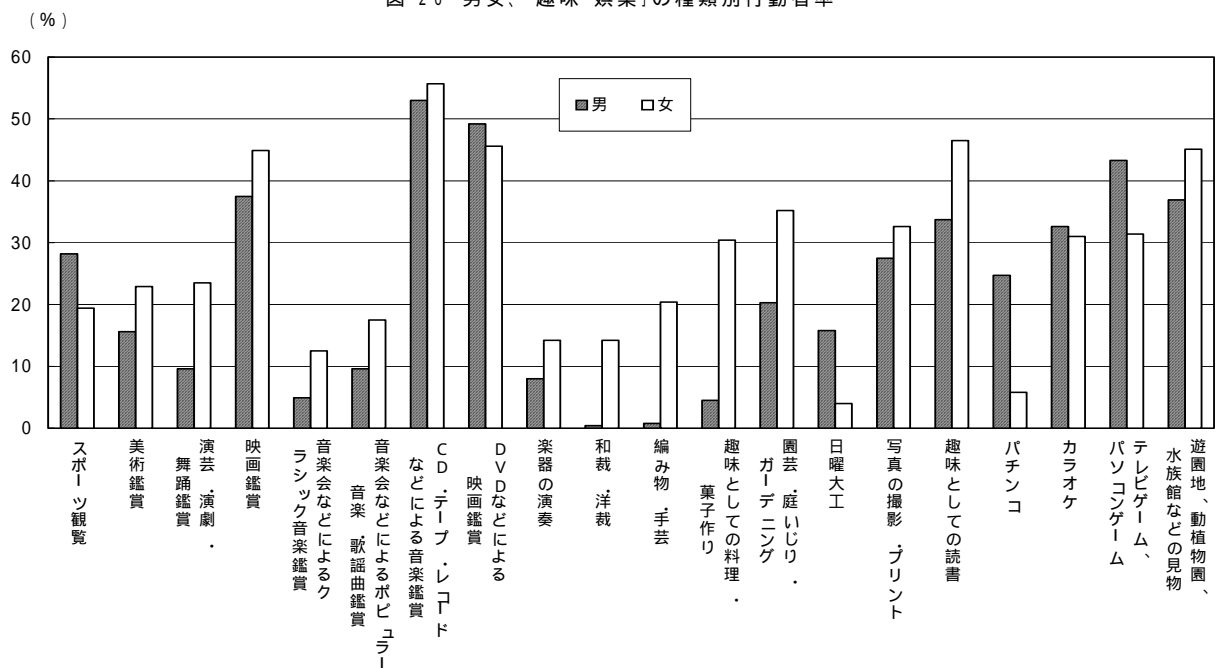


種類別の行動者率では、「CDなどによる音楽鑑賞」が54.3%と最も高い。

「趣味・娯楽」の種類別に行動者率をみると、「CDなどによる音楽鑑賞」が54.3%と最も高く、次いで、「DVDなどによる映画鑑賞」が47.4%、「映画鑑賞」が41.2%となっています。これを男女別にみると男性が「CDなどによる音楽鑑賞」が53.0%と最も高く、次いで「DVDなどによる映画鑑賞」が49.2%、「テレビゲーム、パソコンゲーム」が43.3%となっている。女性は「CDなどによる音楽鑑賞」が55.7%と最も高く、次いで「趣味としての読書」が46.5%、「DVDなどによる映画鑑賞」が45.6%となっています。

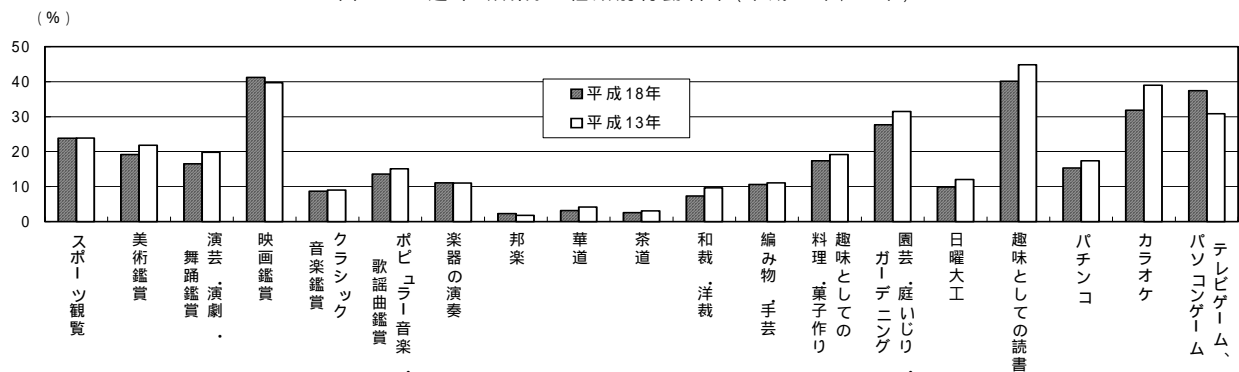
比較可能な「趣味・娯楽」の種類について、平成13年と比べると、「テレビゲーム、パソコンゲーム」が6.6ポイント上昇、「映画鑑賞」が1.5ポイント上昇しましたが、「カラオケ」が7.2ポイント低下、「趣味としての読書」が4.7ポイント低下などとなっており、ほとんどの種類で行動率が低下しています。[図26、27、「第7-4表」参照]

図 26 男女、「趣味・娯楽」の種類別行動者率



注：行動者率が10%以上の種類を表章。

図 27 「趣味・娯楽」の種類別行動者率（平成13年、18年）



注：平成13年と比較可能な種類を表章。
「テレビゲーム、パソコンゲーム」の平成13年の調査項目名は「テレビゲーム」

5 ボランティア活動

過去1年間に「ボランティア活動」を行った人は155万5千人、行動者率24.0%で5年前より3.4ポイント低下

過去1年間に何らかの「ボランティア活動」を行った人は155万5千人で、行動者率は24.0%と平成13年に比べ3.4ポイント低下しています。男女別にみると男性が68万5千人、女性が87万人となっており、行動者率は男性が21.1%、女性が27.0%で、女性が男性より5.9ポイント高くなっています。

行動者率を年齢階級別にみると、35～44歳が最も高く、25～34歳が最も低くなっています。これを男女別にみると65歳未満では女性の方が高く、65歳以上では男性の方が高くなっています。

本県の行動者率を全国でみると、41番目と全国平均(26.2%)より低くなっています。

[図28、29、「第5表」、「第8表」参照]

図28 年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率(平成13年、18年)

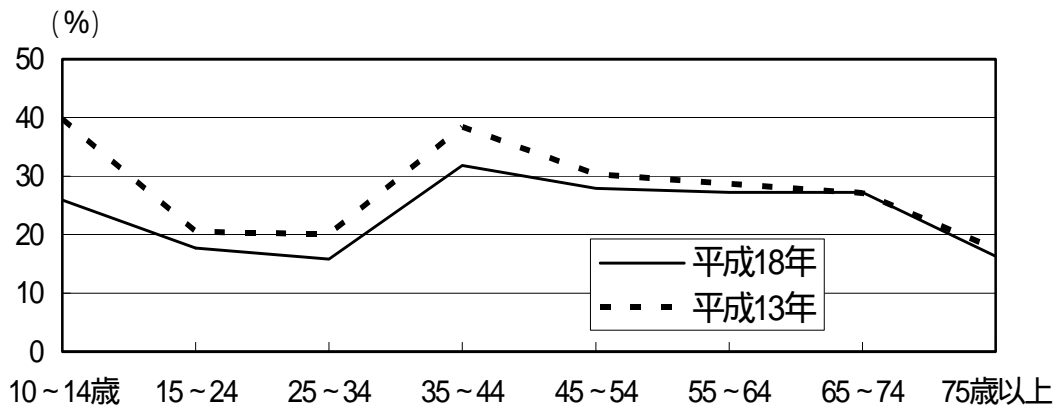
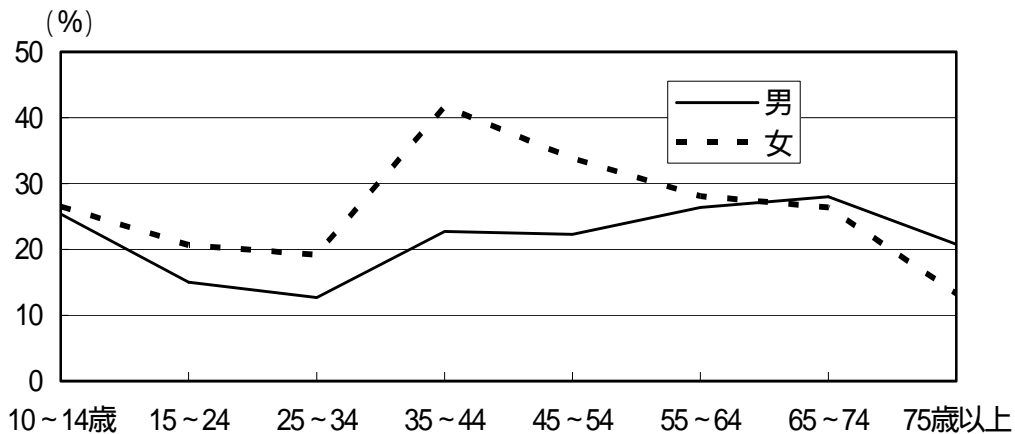


図29 男女、年齢階級別「ボランティア活動」の行動者率



行動者率は「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」を除くすべての種類で男性に比べ女性の方が高い

「ボランティア活動」の種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が10.8%と最も高く、次いで「自然や環境を守るための活動」が6.3%、「安全な生活のための活動」が6.0%となっています。これを男女別にみると、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」を除くすべての種類で女性の方が高くなっています。

比較可能な「ボランティア活動」の種類について、平成13年と比べると、「子供を対象とした活動」のみ上昇しています。[図30、31、「第7-5表」参照]

図 30 男女、「ボランティア活動」の種類別行動者率

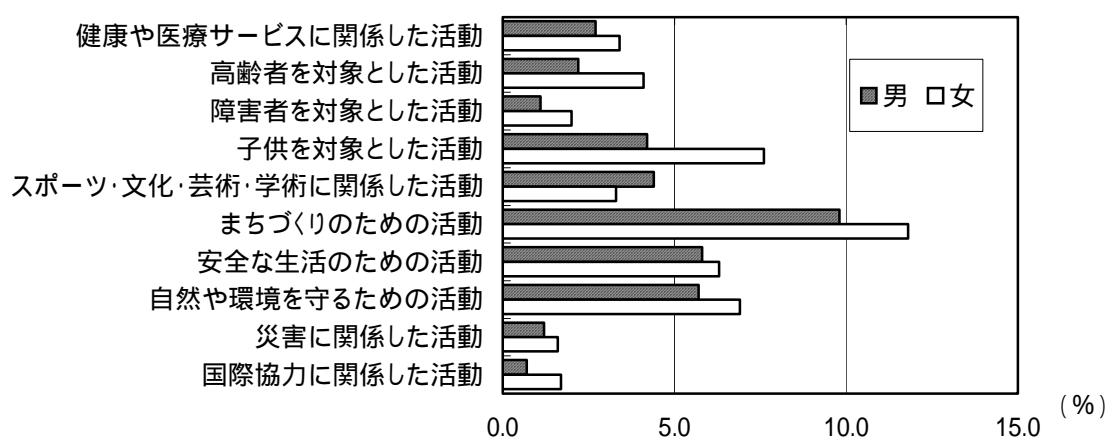
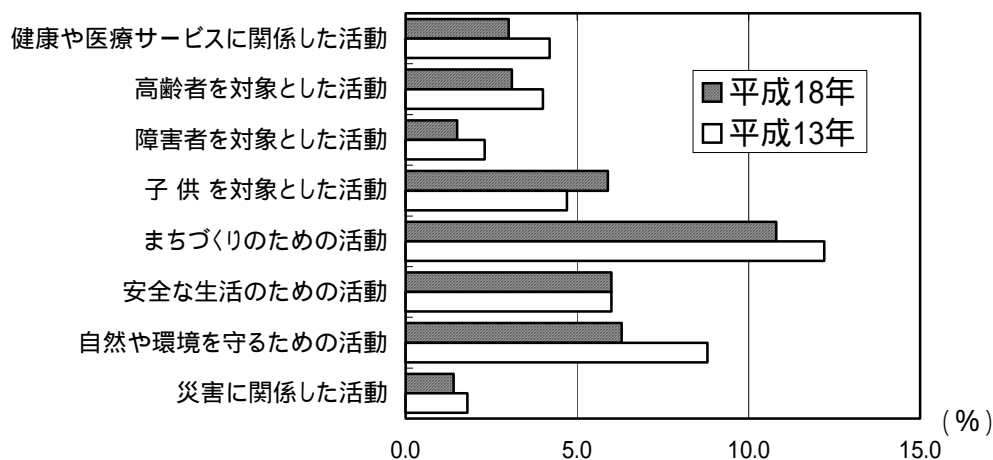


図 31 「ボランティア活動」の種類別行動者率(平成13年、18年)



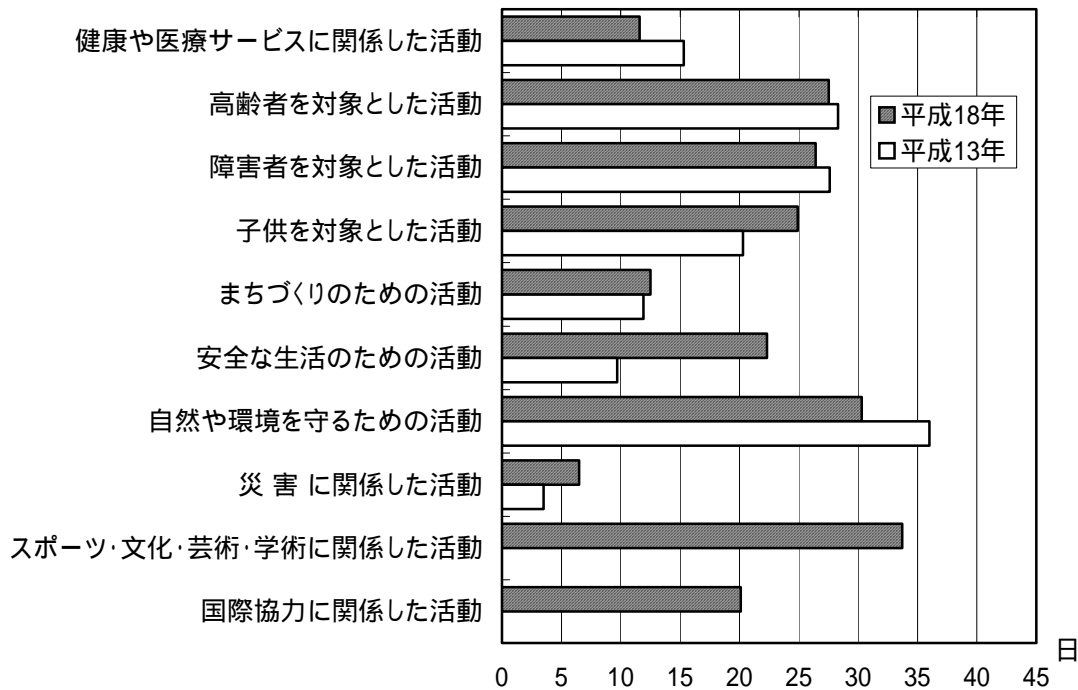
注: 平成13年と比較可能な種類を表章

平均行動日数は平成13年と比べて、「安全な生活のための活動」が12.6日、「子供を対象とした活動」が4.6日と増加

「ボランティア活動」の種類別に1年間の平均行動日数をみると、「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」が33.7日と最も多く、次いで、「自然や環境を守るための活動」が30.3日、「高齢者を対象とした活動」が27.5日となっており、最も少ないのは「災害に関係した仕事」で6.5日となっています。

比較可能な「ボランティア活動」の種類について、平成13年と比べると、「安全な生活のための活動」が12.6日、「子供を対象とした活動」が4.6日それぞれ増加しています。一方、「自然や環境を守るための活動」が5.7日、「健康や医療サービスに関係した活動」が3.7日それぞれ減少しています。[図32 参照]

図 32 「ボランティア活動」の種類別平均行動日数
(平成13年、18年)



注: 「スポーツ・文化・芸術・学術に関係した活動」及び「国際協力に関係した活動」は平成13年と比較ができないため、平成18年のみを表章した。

6 旅行・行楽

1年間に「旅行・行楽」を行った人は528万8千人、行動者率は81.7%で5年前より2.2ポイント低下

過去1年間に何らかの「旅行・行楽」を行った人は528万8千人で、行動者率は81.7%となっており、平成13年に比べ2.2ポイント低下しています。男女別にみると、男性が259万人、女性が269万8千人となっており、行動者率は男性が79.7%、女性が83.7%で、女性が男性より4.0ポイント高くなっています。

行動者率を年齢階級別にみると、10～14歳が88.7%と最も高く、次いで、35～44歳が87.5%となっています。これを男女別にみると、65歳未満では女性の方が高く、65歳以上では男性の方が高くなっています。[図33、34、「第5表」参照]

図 33 年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率(平成13年、18年)

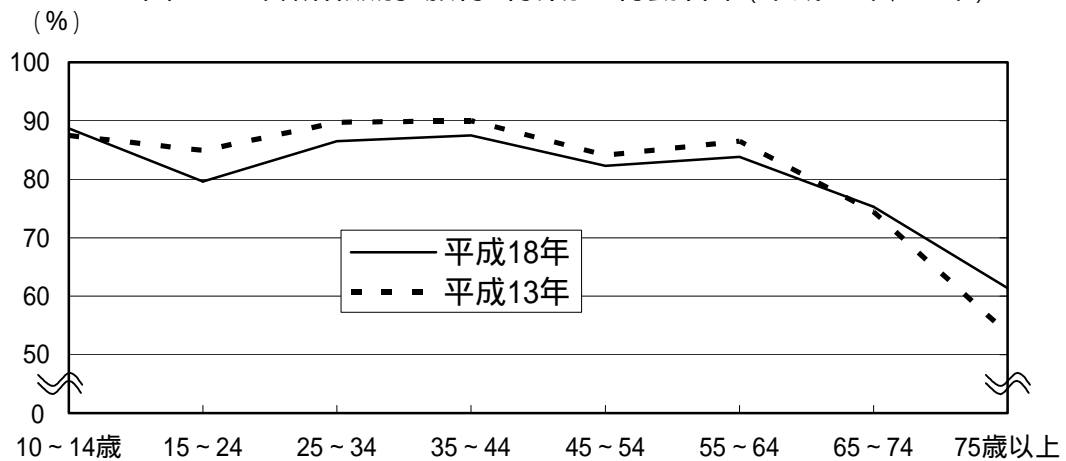
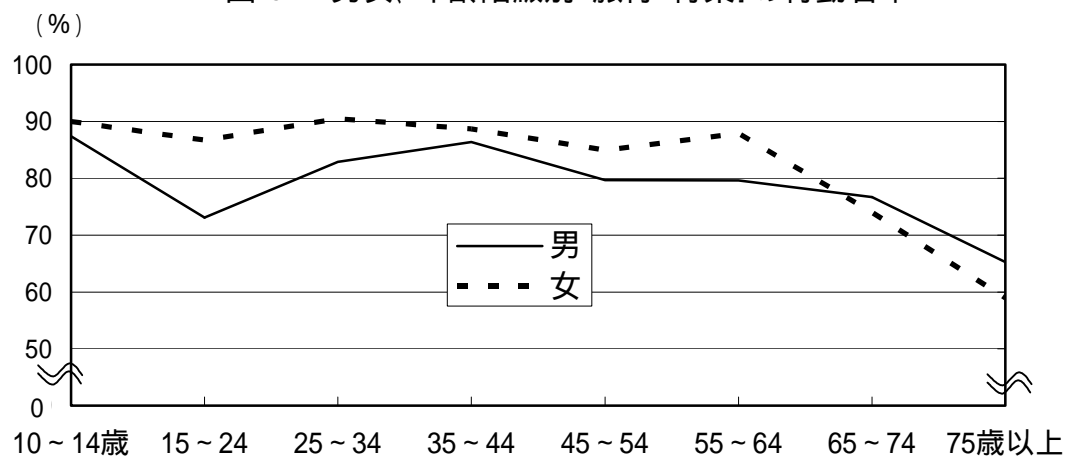


図 34 男女、年齢階級別「旅行・行楽」の行動者率



すべての種類で行動者率が低下

「旅行・行楽」の種類別行動者率をみると、「行楽(日帰り)」が67.3%、観光旅行では国内が67.6%、海外が11.7%となっています。これを男女別にみると、国内及び海外の「業務出張・研修・その他」を除き、すべての種類で女性の方が高くなっています。

行動者率を平成13年と比べると、「行楽(日帰り)」が2.9ポイント低下、「観光旅行(国内)」が3.9ポイント低下などとなっており、すべての種類で低下しています。

[図35、36、「第7-6表」参照]

図 35 男女、「旅行・行楽」の種類別行動者率

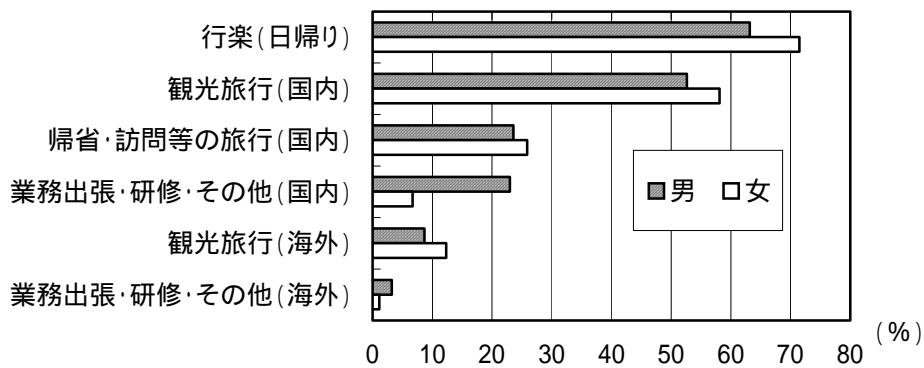
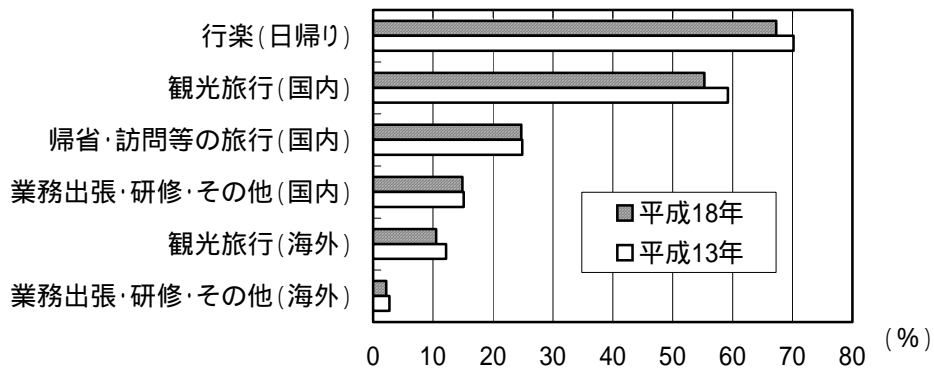


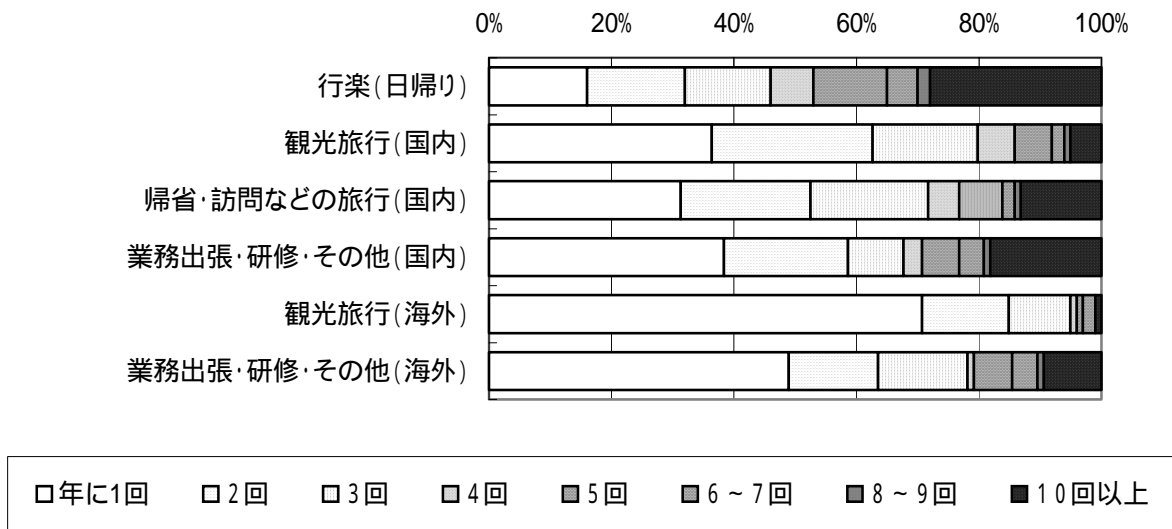
図 36 「旅行・行楽」の種類別行動者率(平成13年、平成18年)



「行楽（日帰り）」は「年に10回以上」が最も多い

「旅行・行楽」に出かけた人の中で種類別に頻度別構成比をみると、「行楽（日帰り）」は年に「10回以上」が最も多く、ほかは「年に1回」が最も多くなっています。[図37 参照]

図 37 「旅行・行楽」の種類、頻度別行動者構成比



注：頻度不詳を除く。